

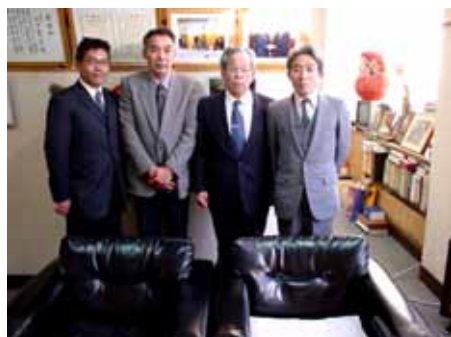
真田の将来を考える会

<自立できる真田を考える 1000人委員会>

残そう真田町!!

- Only One! ただ一つの真田町!! -

「合併しない町宣言」 福島県矢祭町訪問記



『確かここなんだけど・・・』カーナビが示している矢祭町役場の場所に建っているのは、スレートの壁がところどころ欠けて穴のあいている、小さな建物でした。玄関らしき観音開きのドアの左側には「壊れて開きませんので右側からお入り下さい」の張り紙。何の建物かを示す看板も無く、おそろおそろの中に入ってみると黒く変色した板張りの狭い廊下とスリッパ入れ。正面に各課の配置図がぶら下がっており、やっとここが矢祭町役場だと確認できました。

「合併しない町宣言」で全国の注目の的になり、日本中から年間 200 件も行政視察に来るという福島県矢祭町の根本良一町長は、こんな建物の中で私達を待っていてくれました。

(左写真：向かって右から 2 番目が根本良一町長)

なんで合併したいの？

1000人委員会(以下 1000)：長野県の真田町というところから来ました。

根本町長(以下町長)：長野県か、遠いなあ。栄村へ行った事あるな。阿智村って所へも行った。あと坂城町。皆さんの町はどの辺なの？

1000：その坂城町に接しています。今日は朝 6 時に出てきました。雪が降っていて、少し遅くなりました。

町長：そんな遠い所からわざわざ来てくれたの。ご苦労さま。で、あなた達は合併したいの？ したくないの？

単刀直入、いきなり聞いてこられました。

1000：私達は合併せずに、真田町のままでいたいと願っているのですが、町は合併に向かって突っ走っている状態で・・・。

町長：なんで合併したいの？

1000：さあ・・・とにかく「合併しないと財政的にやっていけない」の一点張りで・・・。

町長：財政と合併は全然、別なものだよ。合併してもしなくても、削るところは削らなきゃいけないんだから。大体、特例法で金を借りられるから合併しよう、なんていう判断は住民を冒険(ぼうとく)しているんだよ。浮かれて起債受けて橋だの造って、後に借金残してどうするの。

合併なんていってみれば弱者連合なんだからさ、それぞれの町村の自治をしっかりさせることがまず大事なはずで、それをしないで薄い水と薄い水を混ぜたって濃くはならないよ。あなた方の町はどのくらいの予算なの？

1000：確か 56 億円ぐらいで、来年度は 2 億円ぐらい減るということだったと思います。

町長：ああ、2 億ぐらい、どうってことない。1 年でやる予定の事業を 3 年に分けてやるとか、どうしても必要なものと後回しでいいものと分けるとか、やり方はいくらでもあるよ。2 億や 3 億、どうってことない。町の財政力指数は？

1000：真田町は 0.4 くらいです。

町長：それはりっぱなもんだ。それだけあれば大丈夫だ。

福島県東白川郡矢祭町
福島県の最南端、茨城県との県境に位置する。
低い山並みの間を流れる清流・久慈川に沿って水田と集落が広がる、人口約 7200 人の町。



小さな町にも意地がある

町長：交付税が減る減るって言うけどさ、交付税の使い道の 8 割は人件費なんだよ。人件費で消えちゃう。

1000：先ほど職員の方にお聞きしたら、今いる職員 83 名を、退職職員を補充しないことで 10 年後には 50 名に減らすということですが、例えば民間委託できるようなものは委託したり、町民ができることは町民にやってもらう、というように役場の仕事を減らしていくということですか？

町長：いや。今まで職員、多すぎたんだよ。

なっ、と言って町長は同席していた職員に顔を向けました。町長に見られた職員は苦笑い。

町長：俺は官僚が大嫌いさ、官僚が威張っているから日本はダメなんだよ。俺はできれば役場なんか、つぶしたいと思っているんだ。役人根性が染みついている課長クラスなんか、みんな辞めさせたいね。10 年間新規採用しないと世代が空いちゃうって心配する人もいるけど、民間に勤めてた優秀な人でいま働く所がない、っていう人がいっぱいいるんだから、そういう人を雇えばいいんだよ。

うら面に続く

根本良一町長

66 歳
家業の家具店を継承。
45 歳の時に町政刷新を訴えて初当選。以後、5 期 20 年町長を努める。昨年 3 月、町長をしていることで家族に迷惑をかけていたことを理由に引退を決意。議会で表明するため登庁すると「町のためにやめないでくれ」と懇願する町民が多数つめかけ町長室に“軟禁状態”に。遅れてやっと始まった議会で引退撤回を表明。現在 6 期目

言葉づかいもそうですが、飾らず、単刀直入。しかし常に本音で語りかけてくれる、その人間的魅力にひきつけられます。

1000：町会議員さんは18名いますが、この数はそのままですか？

町長：いや、この3月に選挙あるけど、定数は10名になる。平成13年の10月に議会が「合併しない町宣言」を議決した後、総務省の役人なんか近隣の町村へ行って「あそこの議員は、議員でいたいから合併しないんだ」なんていいふらしてさ、そんなことわれちや意地があるし、議員も「身を切っても自立するために頑張る」ってことで、定数削減の条例を自ら可決したんだ。

ところで、普通合併しないで自立を選択するというと、そのためのまちおこし・むらおこしを一生懸命しなければ、と考えてしまいます。根本町長の考えは？

食っていければいいんだ

1000：矢祭町の特産品は何ですか？ まちおこしで何か始めたことはありますか？

町長：まあ、米かねえ。あんまり有名じゃないけど。

1000：町のホームページには「ゆず」「コンニャク」などが載っていましたが。

町長：ゆずは山のほうの畑でちょこちょこっと作っているだけだな。コンニャクは今は安くダメだ。

俺もそうだけど、この辺の人は怠け者なんだ。というのは土地が肥沃で、昔から食うには困らなかったから。

1000：気候が温暖だから、ということもありますか？

町長：温暖じゃないよ。皆さんのところみたいに、積もることはないけど雪もけっこう降るし、寒いし。このあいだも、少し南下して水戸まで行ったら、ほうれん草がこんなにでかくなっていて、びっくりした。

1000：食べていかれればいいんだ、と。

町長：そうそう。

まちづくり、むらおこしのヒントを期待していたこちらは拍子抜け。『無理して他に負けないように、なんて考えていないんだよ』といわれたような気がしました。しかし食べていかれればいい、というだけではもちろん町政運営はできませんし、そんな町長では6期も務まるわけはありません。同席していた職員で、自立推進課の高信由美子さんと大串肇さんが説明します。

1000：町の資料を見ますと、人口が少しずつ減っていますが、何か対応策は考えていますか？

大串：昨年暮れ、東証1部上場の空気圧機器メーカーSMCの工場誘致に成功しました。あまり聞いたことのない会社ですが、新幹線などのドアの開閉装置を作っています。開いたり閉まったりする時に、プシューと空気圧の音がしますよね。あれです。SMCはこの不況下にあって毎年業績を伸ばしている超優良企業です。工場ができれば2000人が働く場になります。ニュータウンの分譲とあいまって、10年後には人口1万人になることを予定しています。

1000：1万人ですか！ 税収もかなり伸びますし、人が増えれば新たな活力も生まれますね。

高信：はい。向こうの会社の役員の中には、「そんな交通の便も悪い所になんで作るんだ」という反対が強かったようですが、最終的にはSMCの社長とうちの町長の、トップどうしの信頼関係で誘致が決まりました。



根本良一 矢祭町長にお会いして

穴の開いた外壁。片方しか開かない、しかし直すつもりもない玄関のドア。歩くとギシギシ鳴る階段。トイレには昔ながらの木のサンダルが置かれ、古びたタイル張りの床にガラガラと響きます。昭和35年に建てられたままの庁舎と、封筒に入れた書類が床から積み上げられ、夏は扇風機を回し、冬は小さなガスストーブ1台で暖をとる質素な町長室が、根本町長の21年にわたる町政に対する姿勢を表しています。

町長車(トヨタ・センチュリー)も町民が見かねて寄贈した中古のお下がり、走行距離はすでに30万キロを超えているそうです。

また、昨年の六月議会で根本町長は「町長・助役・収入役・教育長の給与を総務課長と同じ額にする」という条例改正案を提案しました。提案説明で町長は「どうみても自分達は総務課長ほどには働いていないから」と述べ、全会一致で引き下げが決まりました。行政に関わる者・物は徹底的に経費節減し、その分はすべて町民の福祉、サービスに回す。一方で、「これからは口を開いて待っているヒナのために役場の職員がいるわけじゃない。団体や町民ができることはできることはしてもらおう。自治本来の姿に戻るべきだ」とも言います。

帰り際、「この建物が役場だとは思いませんでした」と言うと、「これが俺の誇りなんだよ」と笑った根本町長の座っている古いソファの肘掛部分は、擦り切れたのでしょ、ガムテープが何重にも貼ってありました。

真田の将来を考える会

連絡先 三井和哉(Tel・Fax 73-2546)

矢祭町訪問記編集 三井和哉(73-2546)

佐藤一男(75-3359)

中川則幸(75-3404)

ホームページ

<http://www.ued.janis.or.jp/~takuyahs/1000/index.html>

1000人委員会も団体加盟している

合併を考えるネットワーク・真田からのお知らせ

2月29日(日)に、合併せずに自立を選択した辰野町・箕輪町(伊那地方)、富士見町・原村(諏訪地方)から関係者をお招きし、「なぜ町村民は自立を選択したのか」をライブ形式で話し合う、という計画を立てています。詳細は改めてお知らせ致します。大勢の方のご参加をお待ちしております。

このチラシは皆様からいただいた募金・会費で印刷、新聞折込みをしています。